

1月 ぱくぱく

発行：令和3年1月
小林東方学校給食センター

新年明けましておめでとうございます。今年も、みなさんに美味しい給食を安心して食べてもらえるように気持ちを新たに頑張ります。今年もよろしくお願ひいたします。

今月は全国学校給食週間があります

1月24日～30日は「給食の意義や役割についての理解・関心を高めよう」という全国学校給食週間です。時代とともに、給食も変化をしてきました。時代が変わっても、食べものを大切にする気持ちや、作ってくれる人への感謝の気持ちを、変わらず持ち続けたいですね。

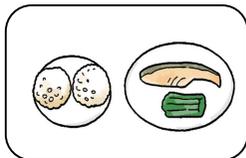
←←← 学校給食タイムマシーン ←←←

明治 22 年

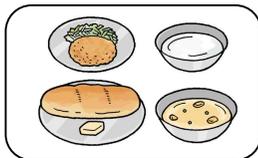
昭和 25 年

昭和 40 年

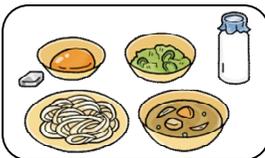
昭和 52 年



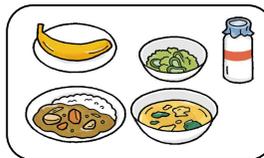
おにぎり・塩さけ・
菜の漬物



コッペパン・脱脂粉乳・ポタ
ージュスープ・コロケ・せ
んキャベツ・マーガリン



ソフト麺のカレーあんか
け・牛乳・甘酢あえ・黄
桃・チーズ



カレーライス・牛乳・
塩もみ・バナナ・スープ



給食の思い出を聞かせてください

学校給食は長く続いていて、保護者の方も食べてきた人が多いと思います。好きだった献立や給食の思い出を家族みんなで話してみませんか？いつも何気なく食べている給食に目を向け、今と昔の給食をくらべてみましょう！

～心温まるご感想をありがとうございます～

私は、毎日、給食を楽しみにしています。3・4時間目になると、お腹がすきます。これから、おいしい給食を作ってください。

(永久津小6年 児童)

学校給食は毎日美味しいと言っています。子供達の為に色々な献立を考えてくださり感謝です。ありがとうございます。私も献立表を見るのが楽しみです。

(東方小1年 保護者)

学校に行く一番の楽しみと言っています。特にデザートのお話をよくしてくれます。

(須木小2年 保護者)

いつもみんなのきゅうしょくをつくってくれてありがとうございます。ぼくはシチューがおいしいです。

(南小1年 児童)

***** おせち料理のいわれ *****

昔は3月3日、5月5日のような節句の料理を「おせち」と呼んでいましたが、今はごちそうの多い正月料理のことを「おせち」といいます。

毎日家事に忙しいお家の人たちが、せめてお正月の3日間ぐらいは料理をしなくてもいいように、とお祝いの意味もある保存の効く料理を作りました。

おせち料理は住んでいるところや家庭によって、作る料理、お重へのつめ方、お重の数も違います。料理によっては、興味深い「いわれ」を持つものもありますので、ぜひ調べてみてください♪

黒豆：ま(じ)めに働く

数の子：子孫繁栄〔たくさんの卵が入っているため〕

きんとん：金運上昇〔漢字では「金」と書いて財宝を表す〕

伊達巻：学業成就〔巻物(書物)をイメージしている〕

れんこん：将来の見通しが良い〔穴から向こう側が見通せるため〕

昆布巻：祝う・えらくなる〔コンブを「よろこぶ」にかけている〕

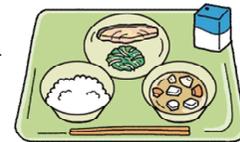


保護者の方へ

～給食費の半額補助のこと
ご存じですか？～

小林市内小中学校の給食費は、小林市のふるさと納税(※未来まち創生基金)を活用し、半額補助されています。

一食あたりの給食費は、小学校 237 円、中学校 273 円となっていますが、保護者の方の給食費のご負担は、一食当たり半額の小学校 119 円、中学校 137 円となっています。



全国のたくさんの方々が小林市の子どもたちを応援しています！

※「未来まち創生基金」とは…将来の小林市を担う子どもたちを市民みんなで育てるとともに、子どもたちの地域を愛し感謝する心を育む事業となっています。

きりとり

◆ 給食に関する御感想などをぜひお聞かせください。
下の欄に御記入後、切り取って、学級担任の先生を通して給食センターへお返しください。
() 学校 () 年 お名前()

.....
.....
.....